

令和8年第2回 区づくり推進横浜市議員会議



2027 中区制100周年



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会
2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

©Expo 2027

目次

議題1	令和8年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画について	P1
	令和8年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画	P8
	施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり	P9
	施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり	P17
	施策3 多文化共生のまちづくり	P27
	施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり	P29
	<施策実現に向けた行政運営>	P37
議題2	その他	P39
参考	中区に係る予算のすがた（令和8年度一般会計予算）	P40

議題1 令和8年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画について

1 令和8年度予算の執行にあたって

【令和8年度中区運営方針基本目標】

令和8年度は、「市民の実感」を最上位目標としてまとめた、「横浜市中期計画2026-2029」の初年度です。

市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握、検証しながら「誰もが安心と活力を実感するまち中区～住んで良し、働いて良し、訪れて良し～」に向けた取組を推進することにより、「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」、そして、「明日をひらく都市」の実現につなげます。

【目標達成に向けた施策】

「基本目標」の達成に向け、「4つの柱」を定めます。

また、区民の皆様の生活をお支える窓口業務、福祉関連業務、道路や公園管理等にしっかりと取り組みます。

- 施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり
- 施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり
- 施策3 多文化共生のまちづくり
- 施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

2 区分別総括表

(単位：千円)

項目	8年度 A	7年度 B	増△減 C=A-B	増減率 C/B
中区個性ある区づくり推進費	654,922	641,533	13,389	2.1%
	(648,874)	(634,983)	(13,891)	(2.2%)
自主企画事業	102,028	101,887	141	0.1%
	(101,308)	(101,154)	(154)	(0.2%)
統合事務費	42,433	43,288	▲855	▲2.0%
	(42,156)	(43,048)	(▲892)	(▲2.1%)
統合事業費	16,466	16,166	300	1.9%
	(14,916)	(14,582)	(334)	(2.3%)
区庁舎・区民利用施設管理費	493,995	480,192	13,803	2.9%
	(490,494)	(476,199)	(14,295)	(3.0%)

※上段は事業費、下段（ ）内は、一般財源の額を記載しています。

3 自主企画事業 概要

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり 20,241千円

区特性を踏まえた地域防災力の向上を図るほか、地域の実情に応じた防犯の取組を継続します。また、プラスチックごみの削減等、SDGsの取組を推進します。

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり 22,457千円

子どもや若者の声を区政に反映し、誰もが誇りと愛着を持って暮らせるまちの実現につなげます。高齢者・障害者が生き生きと生活できる地域づくりを進めます。

施策3 多文化共生のまちづくり 13,475千円

在住外国人と地域住民が安心して暮らせるよう、日本での生活に必要な情報や制度等を伝えながら、地域のつながりを築き支え合うまちづくりに取り組みます。

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり 23,958千円

横浜グリーンエクスポや中区制100周年に向け、広報・PRにより意識醸成を図ります。区内小学校と連携し、児童が環境について学び、地域に広める活動を実施します。

<施策実現に向けた行政運営> 21,897千円

区庁舎の利用者環境の改善を進め、来庁者にとってより利用しやすい庁舎となるよう環境改善を進めます。

4 令和8年度 自主企画事業費一覧

(単位：千円)

NO.	事業名	8年度	7年度	増△減額	所管課	重点	頁
施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり							
1	地域防災力向上事業	9,200	8,999	201	総務課	★	9
2	安全なまち・防犯対策推進事業	2,364	2,364	0	地域振興課	★	10
3	交通安全啓発・放置自転車対策事業	2,221	2,341	△120	地域振興課		11
4	みらい環境育成事業	2,209	1,809	400	地域振興課	★	12
5	初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業	2,000	2,000	0	区政推進課		13
6	花・緑でまちの環境改善事業	800	500	300	中土木事務所		14
7	食と暮らしの安全・安心事業	987	1,238	△251	生活衛生課		15
8	動物適正飼育推進事業	460	717	△257	生活衛生課		16
小 計		20,241	19,968	273			

4 令和8年度 自主企画事業費一覧

(単位：千円)

NO.	事業名	8年度	7年度	増△減額	所管課	重点	頁
施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり							
1	中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！推進事業	1,560	5,910	△4,350	福祉保健課	★	17
2	みんなの健康づくり事業	2,855	3,475	△620	福祉保健課		18
3	高齢者はつらつ推進事業	1,762	2,064	△302	高齢・障害支援課	★	19
4	障害児・者ネットワーク支援事業	412	830	△418	高齢・障害支援課		20
5	みんなで子育て事業	2,216	3,862	△1,646	こども家庭支援課	★	21
6	みんなでサポート親子の笑顔事業	2,112	2,659	△547	こども家庭支援課		22
7	なかくっこ すくすくサポート推進事業	999	750	249	区政推進課 こども家庭支援課		23
8	未来へつなぐ区制100周年 こども・若者みらい共創事業	2,935	0	2,935	区政推進課 こども家庭支援課	★	24
9	スポーツ・青少年事業	5,150	3,340	1,810	地域振興課		25
10	区民活動支援事業	2,456	2,786	△330	地域振興課		26
	(インクルーシブスポーツ推進事業)	0	2,295	△2,295	地域振興課		
小 計		22,457	27,971	△5,514			

4 令和8年度 自主企画事業費一覧

(単位：千円)

NO.	事業名	8年度	7年度	増△減額	所管課	重点	頁
施策3 多文化共生のまちづくり							
1	多文化共生推進事業	5,409	5,409	0	区政推進課	★	27
2	多文化交流事業	8,066	8,243	△177	地域振興課		28
小 計		13,475	13,652	△177			
施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり							
1	まちづくり推進事業	3,428	3,258	170	区政推進課		29
2	自治会町内会活動支援事業	3,870	3,205	665	地域振興課	★	30
3	みんながつながる地域づくり事業	1,090	1,185	△95	地域振興課		31
4	商店街魅力アップ事業	2,300	3,425	△1,125	地域振興課		32
5	にぎわい・魅力アップ事業	3,742	4,830	△1,088	地域振興課		33
6	都市間交流事業	618	671	△53	総務課、区政推進課、 地域振興課		34
7	中区制100周年(2027)記念事業	6,790	2,000	4,790	総務課、区政推進課、 地域振興課	★	35
8	GREEN×EXPO 2027に向けた脱炭素チャレンジ事業	2,120	1,520	600	区政推進課	★	36
小 計		23,958	20,094	3,864			

4 令和8年度 自主企画事業費一覧

(単位：千円)

NO.	事業名	8年度	7年度	増△減額	所管課	重点	頁
<施策実現に向けた行政運営>							
1	区役所サービス環境向上事業	16,738	15,823	915	総務課		37
2	広報・案内事業	5,159	4,379	780	区政推進課		38
小 計		21,897	20,202	1,695			
合 計		102,028	101,887	141			

令和8年度中区個性ある区づくり推進費
自主企画事業執行計画

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

1 地域防災力向上事業

総務課

★重点事業



帰宅困難者対策訓練

R8年度予算

9,200千円

R7年度予算

8,999千円

中区防災計画に基づき、中区の防災力を向上させるため、区民の防災意識の向上、将来的な地域防災の担い手の育成、区防災体制の整備・強化に取り組めます。

地震火災対策計画に基づく重点対策地域の自治会町内会等を対象にアドバイザーを派遣し、当該地域のリスクの洗い出しやその対策を支援する事業を新設します。また、外国籍の方の割合が他区に比べて高いことから、多言語対応啓発パンフレットの更新と動画の新規作成を実施します。

(1) 減災行動啓発事業（4,544千円）【拡充】

ア 地域、企業、各種団体等への減災支援

(ア) 防災講話・防災訓練支援等の実施

(イ) マンション防災アドバイザー派遣事業（6月募集開始 年30回）

(ウ) 地震火災対策アドバイザー派遣事業（6月募集開始 年9回）【新規】

イ 防災啓発

(ア) マリンFMでの防災情報発信(月1回)

(イ) 多言語対応啓発パンフレットを更新し動画を作成（12月配信開始）【新規】

(2) 災害時の担い手育成事業（77千円）

学校向け防災出前教室・防災ウォークの実施（年15回）

(3) 防災訓練・災害対策事業（4,579千円）

ア 各種訓練の実施

(ア) 産官民の協働による帰宅困難者対策訓練（12月）

(イ) 民間・区役所等の協働による情報受伝達訓練の実施（9年1月）

イ 地域防災拠点訓練の実施及び備蓄品の充実（総会：6月）

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

2 安全なまち・防犯対策推進事業

地域振興課

★重点事業

R8年度予算

2,364千円

R7年度予算

2,364千円



加賀町防犯キャンペーン

「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となり、高齢者の被害が後を絶たない振り込め詐欺の防止や、近年増加している凶悪な強盗への対策など、地域の実情に応じた防犯の取組を推進します。

(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業（232千円）

中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。

ア 総会の開催（5月）

イ 防犯キャンペーンの実施（6月、10月）

ウ ハローよこはまへの出店（11月8日）

エ 4警察署、3防犯協会、防犯協力会と合同会議等（9月）

(2) 中区地域防犯活動支援事業（1,705千円）

ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与（4月～）、

新1年生への防犯ブザー配布 等

イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、市立小学校

ウ 各警察署から寄せられる犯罪情報等を「中区安全・安心メール」として月2回程度配信します。

(3) 防犯教室・講座事業（427千円）

地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。

こども防犯教室（年10回程度）、寄席de防犯（年1回 9年2月）

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

3 交通安全啓発・放置自転車対策事業

地域振興課

R8年度予算

2,221千円

R7年度予算

2,341千円



小学生の「はまっ子交通安全教室」

区内で発生する高齢者や自転車の交通事故防止及び自転車・バイクの放置防止を推進するため、各警察署、各交通安全協会、地域の関係団体と連携したキャンペーン等の啓発活動に取り組めます。

(1) 交通安全啓発事業 (2,071千円)

ア 中区交通安全対策協議会への支援

イ 子どもの交通安全啓発

(ア) 小学生の交通安全教室開催（市立小学校9校、4月～10月）

(イ) 小学生向け「サイクルルールブック」等啓発パンフレット配布

(ウ) スクールゾーン対策の実施（6月～9年3月）

(エ) 中区交通安全こどもポスターコンクール開催（7月～12月）

(オ) 中学生の交通安全教室開催（市立中学校2校、6月、7月）

ウ 保護者向け交通ルール啓発リーフレット配布（4月～）

エ 地域と連携した高齢者等の交通安全啓発

オ 交通安全運動への協力

カ 各団体への補助金交付（5月～6月）

(2) 放置自転車対策事業 (150千円)

ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援

イ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び移動要望への対応

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

4 みらい環境育成事業

地域振興課

★重点事業



中区クリーンアップDAY!2025

R8年度予算
2,209千円
R7年度予算
1,809千円

一般廃棄物処理基本計画【ヨコハマプラ5.3計画】の目標である、「燃やすごみに含まれるプラスチックごみの量を2030年度までに2万トン削減」の達成に向け、区民・事業者・行政が協働し、削減に取り組みます。

区内外国人住民割合が約12.5%を超える状況を踏まえ、多言語資料や相談体制強化が必要なため、外国人向けの情報提供や新たに集積場所の多言語看板の作成等を実施していきます。

また、SDGsの達成に向け、食品ロスや海洋プラスチックごみの削減に取り組みます。

(1) ヨコハマプラ5.3計画推進活動（160千円）

ア イベント参加（年2回）、店頭啓発（6月）、地区説明会、分別相談窓口

イ 資源回収BOX、リユース文庫による減量化・資源化

ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業の実施（15団体）

エ フードドライブ活動の実施（通年）

(2) まちの美化対策事業（1,899千円）

ア 中区クリーンアップDAY！を実施（5月30日）

本牧クリーンアップDAY！を実施（9年1月）

イ 中華街クリーンアップを実施（年9回）・学校との連携（年5回）

ウ 不法投棄防止に係る啓発（随時）

エ 外国人向けの分別説明会を実施（年2回）

オ まちの美化に取り組む自治会や団体等の活動支援（10団体）

カ 集積場所への多言語看板2種類作成（夏頃）【新規】

（1 英語・中国語、2 ネパール語・ベトナム語）

(3) 美化推進者表彰（150千円）

まちの美化推進及び3R行動の推進に功績があった個人・団体へ区長感謝状の贈呈（9年3月）

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

5 初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業

区政推進課



防犯パトロール

R8年度予算

2,000千円

R7年度予算

2,000千円

まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、関係局と連携して支援を行います。

中区では、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会に、活動補助金の交付及びNPO法人黄金町エリアマネジメントセンターを通じた支援を行います。

協議会等への支援を通じて、アーティスト・学生等とも連携した子ども関連の取組や大岡川の桟橋の活用などのまちづくり活動の活性化を図り、魅力あるまちの形成を目指します。

(1) 環境浄化活動支援補助金 (500千円)

ア 協議会定例会等の開催

(総会 1 回、定例会 5 回、役員会 6 回)

イ 防犯啓発活動等の実施 (防犯パトロール月 1 回程度)

ウ 広報活動 (まちづくりニュースの発行年 3 回程度)

(2) 地域活動を支える運営組織の強化 (1,500千円)

ア 協議会活動の企画、運営手法の検討支援

イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援

ウ 地域の子どもたちが参加できるまちづくり活動の企画調整

<参考> 関係局の取組

- ・ 小規模店舗の借上、エリアマネジメント推進等 (都市整備局)
- ・ 高架下スタジオ等を拠点とした創造性を生かしたまちづくり (にぎわいスポーツ文化局)

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

6 花・緑でまちの環境改善事業

中土木事務所

R8年度予算

800千円

R7年度予算

500千円



公園愛護会・保育園と行った花植え

自治会、公園愛護会など区民の皆様と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで違法駐輪や不法投棄等を防止するための環境整備を行います。また、脱炭素社会の形成、地球温暖化対策の普及啓発を目的とした、区内の小学校等への花緑のカーテンの設置、園芸講習会の開催を継続します。

さらに、横浜グリーンエクスポの機運醸成とPRを目的として、従来の種まきイベントを開催する保育園を拡大し、リレー形式で実施します。

(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策事業（750千円）

ア 花苗提供 3,000株

イ プランター設置・維持管理 9か所

本牧埠頭交番前、大和町、柏葉公園、
長者町（長者町5丁目交差点付近）、山手駅、開港広場公園、
竹之丸（竹之丸保育園付近）、鷺山公園、福富町西公園

ウ 花緑のカーテン設置 4か所

横浜訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所、中区役所

エ 種まきイベント（春・秋） 7～8か所

錦保育園、山手保育園、太陽の子 不動下保育園、
横濱中華幼保園、保育園ばんびーな、竹之丸保育園 ほか

(2) 普及啓発事業（50千円）

園芸講習会 年2回 参加予定者数各25人

9月 秋季園芸講習会

9年2月 冬季園芸講習会

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

7 食と暮らしの安全・安心事業

生活衛生課



飛鳥Ⅱキッズツアー

R8年度予算

987千円

R7年度予算

1,238千円

食中毒等の健康被害の予防及び拡大・再発防止を図り、区民の暮らしの安全・安心を確保するため、食品取扱施設、環境衛生関係施設等の生活衛生関係施設に対する監視指導や、事業者・消費者に対する衛生教育、情報発信を行います。

(1) 生活衛生関係施設の衛生確保支援事業（599千円）

ア 生活衛生関係施設の衛生対策を行います。

(ア) 中華街やホテル等に対し、清浄度を確認できる検査キットを活用した指導や、各種チラシを用いた啓発等によりHACCP※の導入を推進します。

(中華街一斉監視：5月～6月実施、約200件)

※HACCP:食品の安全を確保するための国際的な衛生管理手法

(イ) 大規模イベント等での食品提供について、食品の衛生的な取扱いを指導します。(年350回)

(ウ) 食肉を取り扱う飲食店等に対し、科学的根拠に基づく十分な加熱調理を行うよう周知・啓発を行います。

エ 高齢者や乳幼児等の健康リスクの高い方が利用する施設に対し、立入点検等でノロウイルスやレジオネラ等の感染症予防の啓発をします。

(2) 暮らしの安全に関する情報発信事業（388千円）

ア 感染症や衛生害虫対策に関する講習会を開催し、区民や自治会、事業者に向けて健康被害を予防するための注意喚起を行います。

イ 広報よこはまや庁舎内の広告モニター、パネル展などを利用し、幅広い年代の区民への啓発を行います。

ウ 消費者を対象とした食中毒予防キャンペーンを客船飛鳥Ⅱのキッズツアー（40組80名 8月16日）やハローよこはま（11月8日）で実施します。

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

8 動物適正飼育推進事業

生活衛生課



災害時ペット対策の啓発

R8年度予算

460千円

R7年度予算

717千円

ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育に関する啓発を実施し、事故やトラブルの防止に取り組めます。

また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時ペット対策の啓発や取組支援、飼い主への日頃の準備等の啓発を実施します。

(1) 動物適正飼育啓発事業 (257千円)

ア 狂犬病予防注射出張会場において、中区獣医師会及び動物適正推進員と連携して、犬の飼い主への啓発を実施します。

(4月3日 新本牧公園 全日 109頭、4月7日 日ノ出川公園 半日 42頭

4月18日 根岸森林公園 全日 141頭 合計292頭)

イ ハローよこはま等のイベントに参加し、中区獣医師会等と連携して、来場者へ啓発を実施します。(9月、11月、12月、9年2月)

ウ 犬の放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携し、散歩中の飼い主に対する啓発、指導を実施します。

エ 区民が飼い主のいない猫対策として実施する地域猫活動の支援や機材の貸出しを行います。

(2) 災害時ペット対策推進事業 (203千円)

ア 地域防災拠点の拠点訓練等においてペット同行避難に関する啓発や同行避難訓練等の実施についての提案、支援をしています。

イ ペット同行避難の検討に既に取り組んでいる地域防災拠点のペット受入マニュアル等の成果物を参考に、ホームページ等での啓発、ペット避難所開設キットの配備を推進します。

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

1 中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！推進事業

福祉保健課

★重点事業



第5期区計画素案への区民意見募集

R8年度予算
1,560千円
R7年度予算
5,910千円

7年度に策定した第5期計画（8～12年度）に基づき、誰もが安心して健やかに暮らせるまちを目指して、中区全体と各地区の特色に合わせた取組を進めていきます。

区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザが連携し地域主体の活動を支援するとともに、計画の周知にとどまらず、多様な区民が参画し声を届けられる仕組みをつくりまします。対話と協働を通じて、地域と一体となって計画を推進します。

(1) 推進会議・人材育成（352千円）

区域では、関係機関・団体および13地区の代表者で構成する「中なかいいネ！推進会議」を開催し、区計画を推進します。

地区別では、計画の目標や課題を共有し、各地区の状況に合わせた取組を進めます。また、地域支援に関わる職員向けの研修や日頃の情報共有を通じて地域支援のチーム力を高めます。さらに、区域と地区の取組を連動させ、事例共有や課題解決に向けた連携を強化します。

ア 中なかいいネ！推進会議（7月、9年3月）

イ 地区別推進会議（13地区ごとに各地区の状況に応じて開催）

地区別チーム会議（年80回程度 寿地区10回、ほか12地区各6回程度）

ウ 地域支援合同研修（5月）、地域支援従事者研修（7月、10月）

(2) 計画PR・魅力発信（1,208千円）

関係団体との連携やイベント等を通じて、計画を広く周知・PRし、より多くの区民が取組を実感できるよう進めます。多様な当事者の声を聴く機会の充実を図ります。また、デジタル・アナログ双方の情報発信を強化し、誰もが情報にアクセスしやすい環境をつくりまします。

ア 広報発信（広報よこはま特集1回（4月）コラム3回（7月、10月、9年1月）、デジタルサイネージ動画3か所（4月～）、SNS発信月1回）、イベント連携（推進月間（7月）、ハローよこはま（11月）ほか）、当事者の声を聴く取組（小中学校でのワークショップ年3回程度）、啓発物品作成、バス広告

イ 概要版リーフレット多言語版・やさしい日本語版の発行・配布（10月1,000部）

ウ 中なかいいネ！発表会（9年2月）

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

2 みんなの健康づくり事業

福祉保健課



歯ぴか教室

R8年度予算

2,855千円

R7年度予算

3,475千円

生活習慣病予防の鍵となる「子育て・働き世代（成人・壮年期）」を対象に、専門職が対象者が集まる場に積極的に出向き、情報提供やアドバイスを行うことで、区民や区内在勤者が健康づくりを実践できる環境づくりを進めます。

また、区民意識調査で関心が高い防災分野の取組の一つとして、災害に備えた健康支援に関する情報提供を充実させます。

(1) 子育て家庭のヘルスアップ事業（923千円）

乳幼児健診等での健康チェック（年15回 25人／回）を継続し、歯ぴか教室（年9回 30人／回）については、会場の拡充や働く方が参加しやすい土曜開催を増やすなど、健康を見直すきっかけづくりを推進します。

(2) 働き世代のヘルスアップ事業（323千円）

ナイトウォーキングイベント（9月 30人）や出張講座・健康チェック（年5回 30人～200人／回）を継続します。企業向け出張健康講座（年5回 20人／回）を継続し、健康機器の貸出（目標年10か所）については、使用方法を動画化するなど利便性を高めます。

(3) 災害に備えた健康づくり事業（814千円）

災害に備えたリーフレット（4,000部）を活用し、専門職が地域の健康づくり・子育て支援事業、各種健診やイベントなど、さまざまな場に出向いて講座形式で普及・啓発を図ります。また、SNSやデジタルサイネージを活用し、デジタル広報の充実を進めます。

(4) 食育推進事業（615千円）

食育イベント（10月 50人）や研修会（9年1月 40人）を継続し、ヘルスメイトの「しあわせの食育レシピ」の広報区版掲載50回目及び区制100周年を迎えることを記念して冊子を作成し、地域で活用します。（1,000部）

(5) 中区健康づくり月間事業（元気フェスタ21事業）（180千円）

ハローよこはま2026にて元気フェスタ21を開催します。（11月）

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

3 高齢者はつらつ推進事業

高齢・障害支援課

★重点事業

R8年度予算
1,762千円
R7年度予算
2,064千円



介護予防事業（体力測定会）

「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区アクションプラン」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、老人クラブ活動支援や地域での介護予防活動推進、認知症の人にやさしい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めます。

(1) 高齢者の地域交流促進（454千円）

老人クラブ連合会の各種行事を支援し、活動の充実と加入促進を図り、高齢者の心身の健康保持を推進します。

ア 行事の補助・開催支援

グラウンドゴルフ大会（5月18日、10月 60人／回）

老人福祉大会（9月 250人）

ふれあい運動会（12月 350人）等

イ イベント等でのP Rチラシ等の配布

(2) 介護予防事業（300千円）

高齢者が自分の健康状態に関心を持ち、積極的にフレイル予防に取り組む機会を増やします。

ア 体力測定会の実施（年5回 30人／回）

イ 姿勢改善講座の実施（全6回 20人）

(3) 認知症支援事業（1,008千円）

認知症の理解を深め、「認知症の人にもやさしいまち中区」を実現するため、相談支援や啓発活動を推進します。

ア 認知症高齢者等の介護者を対象とした個別相談の実施（年18回）

イ 認知症キャラバン・メイト活動支援（年2回 10人／回）

ウ 認知症体験型研修（7月 30人）

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

4 障害児・者ネットワーク支援事業

高齢・障害支援課



ポレポレグッズ（事業所自主製品）

R8年度予算

412千円

R7年度予算

830千円

障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、区内の医療・福祉・行政・地域団体などの関係機関が連携し、切れ目のない支援体制を整えます。生活の場で必要な相談やサービスが円滑に受けられる仕組みを構築し、地域全体で支え合う体制の整備を目指します。

(1) 関係機関連携推進事業（242千円）

相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制を充実させます。

ア 自立支援協議会の開催（事務局会議(毎月)、専門部会(45回程度))

イ 支援者の支援力向上や連携強化を目的に研修会等の開催(5月、9月)

(2) 障害理解・販路拡大推進事業（170千円）

障害者の社会参加及び障害理解の推進を図るため、ポレポレグッズ（福祉事業所の自主製品）の販売活動の支援等を行います。

ア 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会への運営費補助

イ 販路拡大委員会（隔月）、ナカナ・カフェ運営委員会開催支援（年4回）

ウ 区役所内定期販売会の支援（毎月）、中区SDGsマルシェ販売会の支援(毎月)、ほか各種行事等への出店調整

エ 横浜武道館等での販売会支援（年5回）

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

5 みんなで子育て事業

★重点事業

R8年度予算

2,216千円

R7年度予算

3,862千円



7年8月ピースフルファミリー事業の様子

子育て中の方の育児不安や孤立感を軽減し、身近な地域で安心して子育てできるよう、地域全体で子育てのできる環境づくりに取り組みます。

社会状況の変化も踏まえ、父親も含めた子育て家庭全体への支援を進めるとともに、区内の子育て支援の資源を活用しながら、新たに居場所を作っていきます。

子育て世帯に必要な情報がよりわかりやすく届くような取組も拡充していきます。

こども家庭支援課

(1) ピースフルファミリー事業 (578千円)

親子のコミュニケーション及び家族間のコミュニケーションについて学ぶ講座を年2回実施します。(8月8日、10月24日 合計60人程度)

(2) おでかけスポットマップ (677千円) 【拡充】

地域の養育者の意見を踏まえ、体裁及び掲載内容を大幅に見直し、親子がお出かけをするきっかけとなる情報を発信します。(3,500部 10月配布)

(3) まちのこども応援ひろば事業 (397千円) 【新規】

大和町周辺で地域の方々と連携し、主に0～2歳の親子向けひろば事業を実施します。(年9回 5月～9月 6～10人/回) 夏季は学齢期児童向けイベントを実施します。(年3回 7月～8月 10人程度/回) 周辺の地域活動団体による意見交換会も実施します。(年3回 5月～10月)

(4) 母子手帳用区制100周年ステッカーの配布 (185千円) 【新規】

相談先情報を記載した記念ステッカーを配布します。(1,000枚 7月～)

(5) 窓口対応用・多言語サポート資料の作成 (132千円) 【新規】

児童手当と母子健康手帳交付の窓口対応のため、英語・中国語・やさしい日本語の3言語で記入例等の補助資料を作成し、9月以降から使用を開始します。

(6) 保護者向け保育所等情報提供 (247千円)

保育申請の方法や保育所等の情報、様々な保育サービスを紹介する「中区保育所等のしおり」を作成し、配布します。(3,500部 10月～)

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

6 みんなでサポート親子の笑顔事業

こども家庭支援課



児童虐待防止啓発ちらし

R8年度予算

2,112千円

R7年度予算

2,659千円

安心して子育てできるよう地域の見守る力を高めます。また、子どもや保護者が相談しやすい環境を整え、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供します。

さらに、子どもの安心・安全な生活のため、子どもに関わる支援者の専門性向上に取り組みます。

子ども自身によるSOS発信や、周囲の人による不適切養育の早期把握ができるよう啓発します。

(1) 赤ちゃん学級 (446千円)

生後1歳までの子どもの養育者を対象に、子育ての仲間づくりや子育ての知識を得られる教室を身近な場所で開催します。(70回/年 区内7か所)

(2) 乳幼児健診の充実に関する事業 (451千円)

乳幼児健診に保育ボランティア等を配置します。(年47回)

(3) 親子ヨガ教室 (368千円)

親子ヨガ教室を開催し、乳児との触れ合いを通して、養育者の育児不安を軽減し、孤立を予防します。(8組程度/回 12回/年)

(4) 児童虐待対応力向上事業 (46千円)

区職員向けに外部講師による事例検討等の研修を実施し、区の特性を踏まえた虐待対応について、専門性の向上を図ります。(20人程度 年1回)

(5) 乳幼児期・学齢期家庭向け支援事業 (430千円)

児童虐待防止啓発物を乳幼児健診に来た保護者や、区内の小学生(1～4年生)へ配布します(計5,000部 通年配布)。また、区内の公立保育園全3園を訪問し、幼児へ自身の気持ちの表出について啓発します。

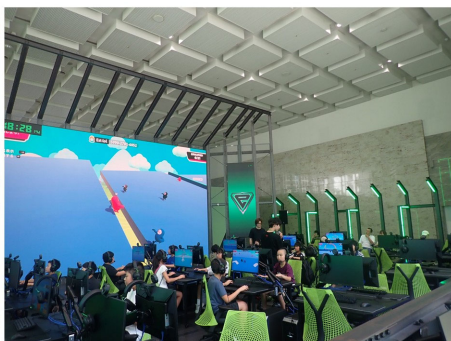
(6) 子どもの自殺対策事業 (371千円) 【新規】

関係機関の職員等を対象に外部講師による研修を開催し、子どもの生きづらさと自傷行為に対応する知識や技術の向上を図ります。(70人程度 年1回)

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

7 なかくっこ すくすくサポート推進事業

区政推進課・こども家庭支援課



なかくっこ自由研究大作戦2025

R8年度予算
999千円
R7年度予算
750千円

人口に占める転入者の割合が9.6%と高く、地域に根差して深く関わるきっかけづくりが必要となっています。子どもとその家族が地域との関わり合いを深めることで、地域が子育ての受け皿となり、地域と子どもをつなげる取組を区全体で推進します。

(1) なかくっこ自由研究大作戦 (525千円)

民間事業者等と連携し、小学生を対象とした体験型イベントや講座を「なかくっこ自由研究大作戦2026」としてリーフレットにまとめ、区内の小学校や公共施設に配布することで、子どもたちが学び、体験できる機会を提供します。8年度は、新規題材を盛り込み実施します。(7月、8月)

(2) 子ども・子育て支援ネットワーク推進事業 (474千円)

子どもとその家族が地域との関わり合いを深め、地域のつながりで安心して子育てができるまちづくりを目指した取組を進めます。

ア 子育て支援ネットワーク連絡会（代表者会議 年3回程度）

ネットワーク連絡会にて外部有識者のアドバイスを受けて地域で取り組む課題、区域で取り組む課題等を整理していきます。

イ 子育てワイワイトーク（年2回）

子育て当事者からの意見を聞く機会を設け、それらの声を子育て支援ネットワーク連絡会や子育て支援事業に反映していきます。

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

8 未来へつなぐ区制100周年 こども・若者みらい共創事業【新規】 こども家庭支援課・区政推進課

★重点事業

R8年度予算

2,935千円

R7年度予算

0円



地域とつながり、未来をつくる学びの場

中区制100周年を契機に次世代を担うこども・若者たちが地域に関わり、まちの未来を「自分ごと」として捉える機会を創出します。

彼らを「未来づくりのパートナー」と位置づけ、行政や地域とともに「共創」モデルを実践します。

地域の多様な資源を活かしつつ、区政や地域にこども・若者の視点を活かす仕組みを創出します。

具体的には、小学生から大学生まで幅広い世代が主体的に参加する2つの企画を実施します。

(1) キミの五感で中区の味をつくろうプロジェクト(873千円)【新規】

ア 小・中学生が「食」を切り口に中区の魅力を探究・再発見します。

イ 地域企業と連携し、中区制100周年を記念したオリジナル商品を企画・開発します。

ウ このプロセスを通じ、「消費者」から「創造者」へ視点を転換し、創造力や探究心を育みます。

エ 企業との意見交換で体験から得る実践知を習得し、商品やストーリーを地域に届ける経験から地域への愛着を深めます。

オ 参加者30人。10月～11月募集、9年1月～3月にワークショップを計2回程度実施。(開発商品は、区制100周年に合わせ発表予定)

(2) NAKA-KU「まちの未来づくり」デザイン&実践事業(2,062千円)【新規】

ア 高校生・大学生を「未来づくりのパートナー」として、区政や地域に関わる当事者と位置づけます。

イ 「つながり」「環境」「賑わい」「多文化共生」などのテーマを想定し、グループに分かれて地域の現場に入り、地域課題を探究します。

ウ フィールドワークやワークショップを通じて、地域や関係者に関わりながら、課題に対する取組や行動のアイデアを具体化します。

エ こうした経験を通じて、若者が地域と関わるきっかけをつくり、区制100周年を機に、次年度以降の地域での主体的な活動につながる土壌を育みます。

オ 参加者20人。6月～7月募集、8月～11月に月1回程度活動、12月～9年1月に区長との意見交換会を実施。

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

9 スポーツ・青少年事業

地域振興課



中区民祭りのスポーツ体験コーナー

R8年度予算

5,150千円

R7年度予算

3,340千円

(5,635千円)

()はインクルーシブスポーツ
推進事業との統合額

地域のスポーツ振興や健康づくり、青少年の健全育成に寄与するため、スポーツ・青少年関連団体や、中区を拠点に活動するプロスポーツチーム等と連携した事業を展開し、元気な地域づくりを実現します。

また、障害の有無や年齢、国籍等を問わず誰もが一緒に楽しむことができる「インクルーシブスポーツ」を推進することによって、区民の交流促進と互いに人格や個性を尊重し多様なあり方を認め合う共生社会の実現を目指します。

(1) 区民スポーツ促進事業 (1,040千円)

区スポーツ協会への事業費補助ほか活動支援、横浜マラソンに向けたランニングクリニック（4月5日、12日）、ラジオ体操指導者講習会の開催（7月4日）

(2) プロスポーツチーム等との連携事業 (1,307千円)

プロスポーツチーム等と連携し、スポーツに親しみ、運動意欲を高める事業を実施（中区民祭りにおけるスポーツ体験コーナー（11月8日）、中区ラグビー教室（9年2月）、学校への出前授業等）

(3) 青少年育成事業 (618千円)

地域の団体・企業と連携し、青少年の交流促進や体験イベントを実施（中区ダンスフェスティバル（7月19日）、なかくっ子フェスティバル（9年2月7日）、小学生フットサル大会（9年1月、3月）等）

(4) 中区文明開化ウォークラリー (580千円)

街並再発見と健康づくりを目的に、青少年指導員・スポーツ推進委員と協働し区内を巡るウォークラリーを開催（5月31日）

(5) インクルーシブスポーツ推進事業 (1,605千円)

インクルーシブスポーツ体験会（5月31日）、区内イベントにおける体験ブース（ポレポレまつり（10月）、中区民祭り（11月8日））

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

10 区民活動支援事業

地域振興課

R8年度予算

2,456千円

R7年度予算

2,786千円



なか区民活動センター祭りステージ発表

なか区民活動センター運営を通じて、地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指し、区民主体の地域活動や生涯学習を支援します。

地域のボランティア人材の活躍支援や、区民が企画する講座の実施支援など、地域で活動する人材の発掘及び育成を推進します。

また、中区読書活動推進目標に基づき地域の施設や団体、民間事業者等と協働して区全体で読書活動を推進します。

(1) 区民活動支援事業(1,969千円)

ア 活動団体・区民利用施設と連携した人材育成・市民活動支援事業

(ア) 活動団体や街の先生※の作品展・ワークショップ(5月)

(イ) なか区民活動センター祭り(11月)

(ウ) 活動団体・区民利用施設との連携講座(各年4回)、活動団体の課題解決に向けた支援講座(年1回)

※街の先生：個人や団体の知識や技術を地域に活かすボランティア

イ 情報提供・発信事業

(ア) 情報誌の発行(隔月)、活動団体の紹介ガイドの発行(9年3月)

(イ) 区民利用施設等のチラシを一括発送する広報支援(月2回)

(2) 生涯学習事業(220千円)

ア 地域で活躍できる担い手育成の講座(年4回)

イ 区民企画による街歩き講座(年3回/企画会議を含む)

(3) 読書活動推進事業(267千円)

ア 施設・団体等と連携実施「なか区ブックフェスタ」(10月～12月)

イ 読書啓発イベント「本活コミュニケーション」開催(9年2月11日)

<参考> なか国際交流ラウンジでの電子書籍閲覧サービス提供(常時)

施策3 多文化共生のまちづくり

1 多文化共生推進事業

区政推進課

★重点事業

R8年度予算
5,409千円
R7年度予算
5,409千円



第3期中区多文化共生推進アクションプラン

国籍やルーツによらず誰もが地域の一員として、安心して自分らしく暮らせるまちを目指し、8年度から新たにスタートした「第3期中区多文化共生推進アクションプラン」のもと、関係機関等と連携し、多文化共生施策を推進します。

8年度は自治会町内会向けの多文化共生ハンドブックを新たに作成します。また、外国人住民への対応が多い部署に、行政単語等の定型文登録や、庁外への持ち出しができる機械通訳機器を新たに設置します。

(1) 中区多文化共生推進アクションプラン推進事業 (772千円)

ア 区民向け「やさしい日本語」の啓発（4月～各種イベントへの出張PR（「やさしい日本語」クリアファイル配布）、9年1月～3月講座実施）

イ 自治会町内会向けの多文化共生ハンドブックの作成【新規】

（4月～9月インタビュー 9年3月配布開始）

(2) 多言語広報紙発行事業 (2,997千円)

中区在住の外国人住民に役立つ生活情報や行政情報等を掲載した広報紙を、英語、中国語、日本語で発行します。

（年4回 英,中：約4,000部/回 日：約1,000部/回）

(3) 多言語ホームページ運営事業 (440千円)

広報よこはま掲載情報や生活情報等を、英語、中国語、ハングル、やさしい日本語で発信します。（月1～2回）

(4) 庁内翻訳機器整備事業 (1,200千円) 【新規】

来庁する外国人住民への対応力向上のため、行政用語の翻訳も可能なAI翻訳機器を新たに5台程度設置（6月末）

施策3 多文化共生のまちづくり

2 多文化交流事業

地域振興課

R8年度予算

8,066千円

R7年度予算

8,243千円



第13回多文化フェスタ

なか国際交流ラウンジを拠点に、地域の活動団体や学校、関係機関等との連携を図り、外国人住民への生活情報の提供、日本語学習支援、地域参加への促進、外国人人材の育成を通じて多文化共生の地域づくりを進めます。

(1) 地域との連携・多文化共生ボランティア等の人材育成

- ア 地域連携コーディネーターによる地域の会議への参加（10回）
- イ 中学生対象の学習支援（39回）・外国につながる若者の居場所「Rainbowスペース」での交流や表現活動（41回）など若者自らの企画運営を支援
- ウ 日本語教室修了者等外国人人材の活躍に向けた支援（月1回）【新規】
- エ 多文化共生ボランティア養成講座（8回）
- オ ボランティア日本語教室連絡会（2回）

(2) 日本語学習支援事業

- ア はじめて教室：来日間もない方向け（各期10回×6期）
- イ 定期教室：入門・初級レベルの方向け（各期30回×2期）

(3) 多文化共生推進事業

- ア 多文化理解講座等の実施（3回）
- イ 多文化フェスタの開催（12月）

(4) 多文化共生ボランティア活用事業

町内会のイベント等にボランティアを派遣し、通訳やチラシ翻訳等を実施

(5) 区が発信するチラシ・案内等の翻訳の実施

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

1 まちづくり推進事業

区政推進課

R8年度予算

3,428千円

R7年度予算

3,258千円



れきけんカード

区民等のまちづくり活動を支援し、様々な地域資源を活用することで、区民の地域への愛着を育み、さらなるまちづくり活動へつなげます。

また、公共空間の利活用などを通じて、地域の活性化につなげる地域主体のまちづくりを進めます。

(1) 地域まちづくり活性化事業 (1,143千円)

ア 8年度も引き続き歩道拡幅後の大岡川右岸における地域主体のまちづくりの検討等を進めます。

イ 各まちづくり団体の定例会への出席などにより、ルール・プラン策定や策定後の運用、防災まちづくり活動等を支援します。

(全11団体 各地区月1回程度)

(2) 歴史的建造物等活用事業 (2,265千円) 【拡充】

区制100周年に向け、7年度から継続して、幅広い世代を対象に、中区固有の魅力資源である歴史的建造物をより深く、よりわかりやすく伝える「れきけんカード」を作成します。

各施設でのカード配布を通じて、ファン（来街者）と地域とのつながりを深め、訪れた人がまちを回遊することによる賑わい創出等を図ります。

(全10施設 各施設2,000枚発行)

(3) よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図活用事業 (20千円)

「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」を活用したイベントを企画します。
(対象者20名程度 下半期に1回実施)

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

2 自治会町内会活動支援事業

地域振興課

★重点事業



埋地ミニ夏祭り

R8年度予算

3,870千円

R7年度予算

3,205千円

市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携・協力関係を深めます。

自治会町内会の各種活動に対する支援や加入促進事業等を行うことで、自治会町内会の安定的な運営に寄与します。

また、8年度から新たに自治会町内会のデジタル化伴走支援を行います。

(1) 自治会町内会加入促進（1,856千円）【拡充】

自治会町内会の取組をより一層周知するための「SNSによる情報発信」や、町内会活動の負担軽減のための「会費の電子決済」など、町内会のデジタル化を支援する事業を新たに行い、加入促進に繋がります。

また、引き続き新規建築マンションや自治会町内会未加入マンションの管理組合に働きかけるなど、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援します。

ア 中区自治会町内会デジタル化伴走支援事業

（6月～2月 募集团体10団体 支援は3回まで/団体）

イ 自治会町内会実務研修会 （4月8日、18日）

(2) 町内会掲示板整備補助事業（1,000千円）

地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。また、新たに電子掲示板を補助の対象とします。

(3) 自治会町内会感謝会（1,014千円）

市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表するため、感謝会を開催します。（9年3月開催）

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

3 みんながつながる地域づくり事業

地域振興課

R8年度予算

1,090千円

R7年度予算

1,185千円



花いっぱい運動（第2地区連合）

自治会町内会をはじめとする地域の多様な主体が連携・協働して取り組む、地域課題の解決や地域の魅力の創出、多世代・多文化交流の促進等の活動を支援することで、地域活動の活性化、区民の地域参加の促進、地域づくりの担い手となる人材の発掘・育成を推進します。

地域と区民活動センター・国際交流ラウンジとの連携を強化し地域を支援します。

(1) 地域活性化とまちの賑わいづくり支援事業（985千円）

多様な主体が連携・協働して取り組む地域課題の解決や、地域の魅力向上に資する活動に対して補助金を交付します。また、区民の地域活動への参加促進や担い手の発掘を目的とした講座を実施するとともに、地域の活動取材し、好事例を情報紙で広く発信します。加えて、自治会町内会の負担軽減や情報発信力の向上に向け、デジタル化の取組を支援します。

ア 地域の賑わい、つながり作りのための補助金の交付※新規募集は今年度で終了

（対象経費の9割／上限は新規10万円 2年目5万円 3年目3万円）

4月募集開始、5月締め切り、6月審査会にて交付決定

イ 担い手発掘・育成講座（年1回）

ウ デジタル化の支援（例：デジタル支援講座や情報紙発行など）

エ 地域活動情報紙の発行（年10回程度）

(2) 地域運営力向上サポート事業（105千円）

地域（連合町内会や自治会町内会等）の課題や、魅力づくりをテーマとした勉強会や講座に対して、講師等の選定・謝金の助成などの支援を行ないます。

「地域づくりアドバイザー等派遣事業」 4月募集開始

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

4 商店街魅力アップ事業

地域振興課



コミュニティFM放送

商店街広報活動事業（2,300千円）

地域と密着した地元メディア（FM放送局、地域情報紙）を活用して商店街の魅力やイベント情報等を発信し、地域での消費促進に向けた広報を行います。

- ・地元コミュニティFMによる商店街PR番組「ただいま商店街！」を実施（年20回程度 6月～9年3月）

<参考> 経済局区配付予算

商店街活性化イベント補助金：商店街等の活性化イベントに対して、1団体25万円を上限に補助を行います。

R8年度予算

2,300千円

R7年度予算

3,425千円

地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行います。

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

5 にぎわい・魅力アップ事業

地域振興課

R8年度予算

3,742千円

R7年度予算

4,830千円



中区民祭り「ハローよこはま2025」

中区民の交流と調和による地域連帯の醸成を目的に、中区民祭り「ハローよこはま2026」を開催します。また、地域への愛着や誇り、ふるさと意識の醸成を図ることを目的に「中区って『イイネ!』フォトコンテスト」を実施します。

(1) 中区民祭り「ハローよこはま2026」(2,925千円)

開催にあたっては、区内在住者・在勤者・在学者が広く自主的に参加できるイベントとすることで、区内の様々な団体・関係者の連携強化を図ります。また、中区制100周年及び横浜グリーンエクスポに向けた機運醸成にも取り組むなど中区の魅力や活力を広く発信します。さらに、区内外の様々な企業・団体とも連携し、区外からの来街者も楽しめる賑わいあるイベントとします。

ア 開催日程：11月8日（日）

イ 会場：象の鼻パーク

(2) 中区って『イイネ!』フォトコンテスト(817千円)

観光マップでは見ることができない、「私のまちにある」「わたしのまちから見える」行事や風景、人物（地域活動の様子）など、中区の魅力を捉えた写真を募集します。また、入賞作品の展示等を行い、中区の魅力を積極的にPRします。

ア 応募期間：6月8日～10月1日

イ 応募資格：中区にお住まいの方、お勤めの方、通学している方、愛着のある方

ウ 応募部門：小学生以下部門、一般部門

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

6 都市間交流事業

区政推進課・総務課・地域振興課

R8年度予算

618千円

R7年度予算

671千円



つまごい祭り

他都市と交流を進め、中区の魅力を発信します。

横浜グリーンエキスポをはじめ、横浜のシティプロモーションの推進等を図るとともに、中区の魅力の再発見やふるさと意識の醸成につなげます。

(1) 埼玉県飯能市

平成25年3月に飯能市との間で鉄道相互直通運転が開始されたことを契機に、平成26年3月に友好交流協定を締結しました。官民一体となり、両都市で行われる地域イベントへの参加及び広報紙やSNS等を通じた相互PRに取り組みます。

(2) 群馬県嬬恋村

嬬恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰を契機に、平成28年2月に友好交流協定を締結しました。両都市で開催される地域イベントへの参加等を通じて、相互PRに取り組みます。

ア つまごい祭りにて中区ブース出展（夏頃）

イ 「ハローよこはま」にて嬬恋村関連のブース出展（11月）

※その他の交流 沖縄県宜野湾市、山形県米沢市

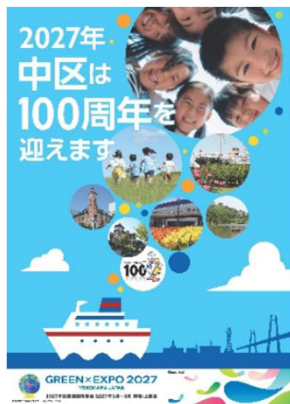
施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

7 中区制100周年(2027)記念事業

総務課・区政推進課・地域振興課

★重点事業

R8年度予算
6,790千円
R7年度予算
2,000千円



中区制100周年PRポスター

9年の区制100周年に向け、7年3月に「中区制100周年記念事業実行委員会」を設立しました。区民の皆様と中区の価値を改めて確認し、地域愛を醸成し、さらに中区をPRし、持続的なまちづくりにつなげていきます。区を挙げた庁内外への機運醸成を図るため、記念行事等の実施、広報・プロモーション活動、関係イベント等の事業検討を行います。

また、同年開催される横浜グリーンエキスポとも連携しながら進めます。

(1) 実行委員会の開催

7年9月24日に令和7年度第1回実行委員会を開催し、事業のねらい、各部会からの報告、予算案等について、3月6日には第2回実行委員会を開催し、8年度予算案、各部会からの報告、事業計画等についてお諮りし、承認をいただきました。

8年度についても、7年度決算報告、事業内容や予算状況等を実行委員会でお諮りし、一丸となって進めていきます。(年2回程度)

(2) 広報・PRの促進

3月に区制100周年のキャッチフレーズ・ロゴマークを策定しました。

8年度は、横断幕・のぼり旗を作成し7月から掲出するほか、9年1月からPR動画を配信します。キャッチフレーズ等を活用しながら、広報・プロモーション活動を展開していきます。

(3) 主な事業の企画・実施

8年度は中区民祭り「ハローよこはま2026」の開催や、区民等により構成された団体等が地域と連携して区制100周年をともに盛り上げていただける「連携事業」、区民等が主体となる記念事業・行事を審査・選定する「区民提案事業」を募集し、各種事業を進めていきます。

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

8 GREEN×EXPO 2027に向けた脱炭素チャレンジ事業

区政推進課

★重点事業



小学校でのコンポスト授業の様子

横浜グリーンエキスポの開催とその先の脱炭素社会の実現に向け、区民の行動変容を促す取組を実施するとともに、横浜グリーンエキスポのPRを図ります。

8年度は小学校と連携した脱炭素啓発に取り組み、区内全校との連携を目指します。

また、来街者の多く訪れる区内公園に花壇設置を行い、幅広い機運醸成にも取り組みます。

(1) 生ごみコンポスト化事業（500千円）

区民にバッグ型コンポストを配布し、各家庭でたい肥づくりを実施します。（30名 6月～10月）完成したたい肥で、区民協働の花植えイベントを実施します。（11月）

(2) 小学校と連携した脱炭素啓発（200千円）【新規】

脱炭素社会の実現に向け、児童への環境教育と地域への普及啓発に取り組みます。区内すべての市立小学校の総合学習などと連携しながら進めます。

6月～9月に各小学校で設定したテーマにおける授業を実施し、その後、地域等と連携した取組に繋がります。

(3) GREEN×EXPO 2027・区制100周年花壇設置（600千円）【新規】

来街者の多く訪れる区内公園を1か所選定し、横浜グリーンエキスポ及び中区制100周年の機運醸成を目的とした花壇を設置します。（秋頃）

(4) 中区SDGsマルシェ（400千円）

毎月1回、横浜野菜を販売するマルシェを開催し、地産地消を推進します。廃食用油の定期回収（SAFへの変換）も合わせて実施します。

(5) チューリップであふれるまち事業（420千円）

自治会町内会等へ球根の配布を行い、区の花チューリップの認知度向上及び横浜グリーンエキスポのプロモーションを図ります。（10月）

<施策実現に向けた行政運営>

1 区役所サービス環境向上事業

総務課



7年度人権啓発講演会

R8年度予算
16,738千円
R7年度予算
15,823千円

区民に寄り添った行政サービスを提供することにより、区役所への区民満足度向上を目指します。

そのため、地域の総合行政機関である区役所が、業務を円滑に実施していくことが必要であり、その取組として、職員の区民サービスへの意識向上を図ります。

また、来庁者にとってより利用しやすい庁舎となるよう環境改善を進めるとともに職員の執務環境の向上を進めます。

(1) 人権啓発事業 (325千円)

人権が尊重される社会を目指し、区民を対象とした人権啓発講演会を開催します。(年1回)また、職員を対象とした研修も継続して実施します。(6月～9年3月/40回程度)

(2) 区役所満足度向上事業 (14,225千円)

ア 顕著な活動を行った区民を顕彰するとともに、行政サービスに対する満足度向上のため、職員を対象にCS向上研修等を実施します。(9月～10月年1回)

イ 利用者の利便性、安全性向上のため、警備や案内を行います。

(3) ワークモチベーション向上事業 (2,188千円)

ア 8年度末にサポートが終了する共用パソコンについて、セキュリティ面等安全性確保のため、更新を行います。(9年2月 8台)

イ 改革推進委員会において、職員主体のアイデアを取り入れた活動を企画・実施するとともに、課を超えた職員の繋がりづくりを促進します。

<施策実現に向けた行政運営>

2 広報・案内事業

区政推進課

R8年度予算
5,159千円
R7年度予算
4,379千円



区民生活マップ

様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげていきます。

また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるよう、総合案内窓口業務に専任のスタッフを配置します。

(1) 区政情報の発信等

行政や地域の情報を適切に提供するとともに、中区の魅力を高めていくため、ホームページ・X（旧Twitter）及びLINE等により、区民に必要な情報を提供していきます。

ア 区ホームページでの区政情報発信

イ X（旧Twitter）及びLINEによるイベント情報等の発信

ウ 庁内職員のための広報研修

エ 区民生活マップの作成（更新）

(2) 区役所総合案内の運営

総合案内窓口専任のスタッフを配置するほか、行政情報を中心とした各種広報チラシを配架し、来庁者へ情報発信を行います。

ア 1階総合案内に受付専任スタッフ（委託）を配置

イ 横浜市及び国・県等の各種広報チラシ配架

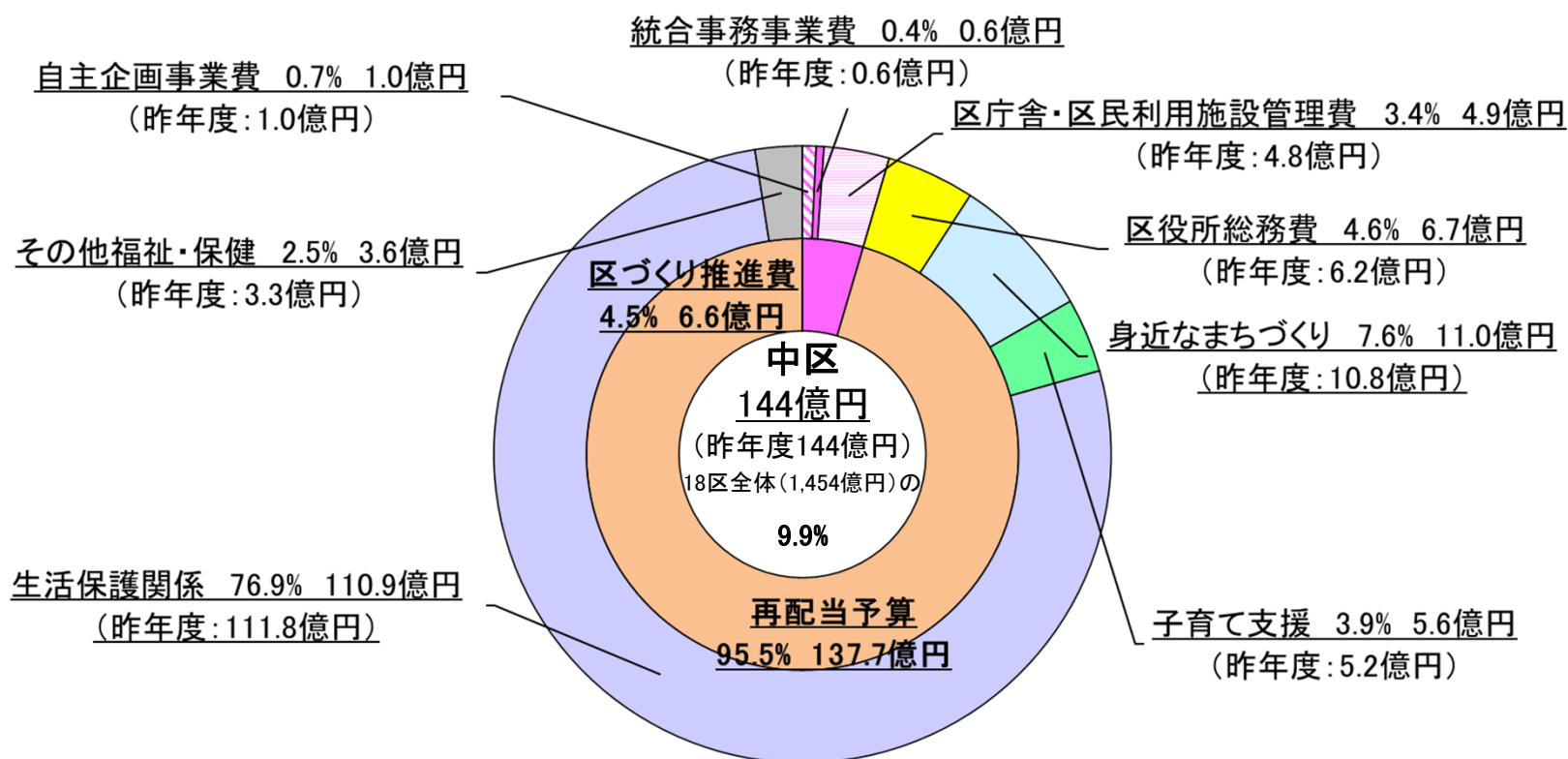
ウ 1階ロビーのデジタルサイネージによる動画及び画像の放映

議題 2 その他

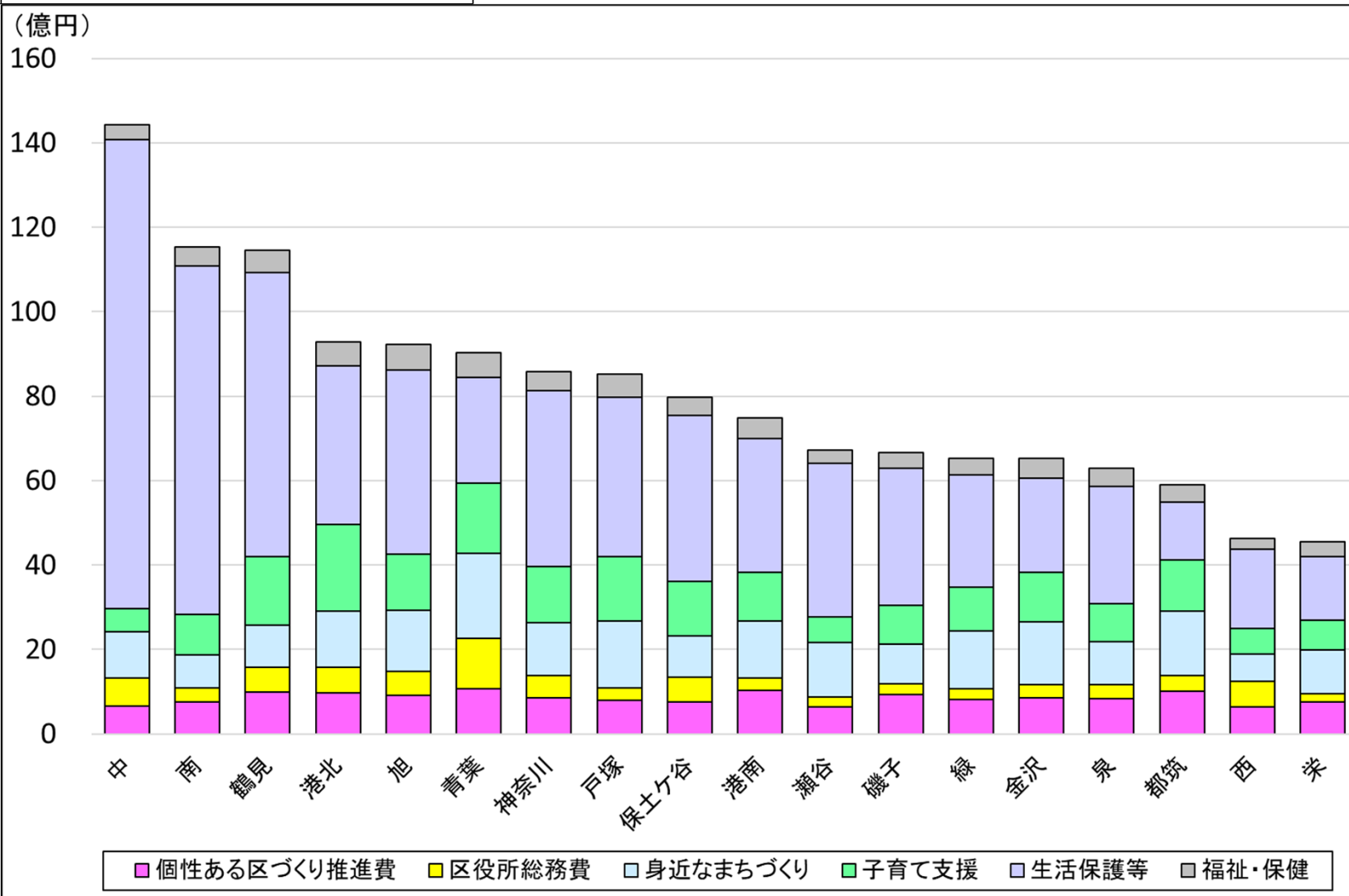
<参考> 中区に係る予算のすがた（令和8年度一般会計予算）

個性ある区づくり推進費や再配当予算が含まれる一般会計のうち、中区に係る予算について、次のグラフに特徴を示しました（人件費、特別会計及び公営企業会計は除いています）。

グラフ1 中区予算額の内訳



グラフ2 各区予算額の概況



主 な 事 業 内 容

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	655	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	102	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	59	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	494	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
再配当予算	13,771	局からの予算再配当を受け、区が執行している予算
区役所総務費	665	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	363	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	16	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	1	各種統計調査を行うための経費です。
地域活動推進費等	284	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,095	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,281 百万円
道路修繕費等	968	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
下水道事業(※参考)	(186)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	127	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。

分類	予算	説明
子育て支援	562	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
市立保育所運営	89	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	319	放課後キッズクラブ運営のための補助金等
地域子育て支援拠点等	153	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	11,094	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	11,068	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	26	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	356	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	113	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	29	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
地域ケアプラザの管理運営等	215	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合 計	14,426	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 14,613 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの再配当額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。

(現時点では区への再配当額が未定のため、区へ再配当する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)